

緊急市民アンケート 集約表 記述欄 地域 菖蒲

【1】 「避難勧告」を ②知らなかった その理由

内容	件数
菖蒲。ではなく隣の市の娘宅にいた。	1

【1】 防災情報の知らせ方で改善点はありますか。

内容	件数
聞こえにくかった。他によく伝わる方法はないだろうか。対策をお願いしたい。個々にわかるよう整備してほしい。	6
真夜中の雨風の最大の時期に避難の指示を出されても難しい。	1
直線で50mぐらいの位置にあるが向きが家のない方向を向いている。又通常は聞こえても強い雨で何を言っているか判らない。非常時に伝わる放送と、情報は早い時期から。	1
家の中でもわかる伝達を。	1
無線の音量が低く最大限にしてあの音だと聞こえづらい。サイレンを鳴らしたらどうか？（殺人事件があった時も犯人が逃げていますとの無線は小さくてわからなかった。非常時には、特にしっかりと教えてほしい。）	2
夜雨戸を閉めて雨も降っていると聞こえない。スマホの緊急メールなどを市で出せないか、とも思いました。	1
防災無線は強風、豪雨の中家のなかでは聞こえにくい。板倉町では各家庭に防災ラジオがあり地元地域の情報が家の中でよく分かったとのこと。	1
防災無線はレベル3で1回、レベル4で一回。広報車もなく「念のため」の防災無線と思った。	1
夜中に騒がしかったが何を言っているのかわからなかった。	1
荒川は広いのでどのあたりが危ないか分かった方がよかった。	1

【2】 避難情報を出す時期について改善すべきことはありますか

内容	件数
12日菖蒲支所に電話。心配ないでしょうとの返事。元荒川と野通川近いので。支所に来ても良い。遠いので。万一の時は2階に上がって。我が家は平屋なので。との対応。	1
防災無線は早めに、一定時間に定期的に情報を流す工夫を伝わる放送をする。消防車等を活用して伝達して。市役所も市議会議員も本当に住民の命を守るという気持ちを持ってほしい。	1
明るい時間帯に出してくれないと、外を歩くのも怖い。高齢者は夜間の移動はムリ。2階以上に避難をしてくださいと言ってほしい。	3

【3】 避難について伺います ①避難した。その理由は

内容	件数
隣の市の娘宅。	1

【3】避難について伺います ①避難しなかった。その理由は

内容	件数
小学校の体育館は2階がない。皆が入りきれぬのか。水はあるのか。教室も使うのか。家の方が安心の気がする。	1
避難所（学校）が開いていなかったと聞いた。誰が明けるのか。訓練必要。	1

【3】避難について伺います ④避難したかったが、行けなかった。その理由は

内容	件数
放送が聞こえなかった。タイミングが遅かった。	1

【3】避難について伺います ④ 避難された場所はどこですか その他

内容	件数

【3】避難について伺います 避難所について改善すべきことはありますか (⑥問題点)

内容	件数
今までは. . . は成り立たない。税金で生活している市職員、議員さん、民間企業は体を張って対応しました。そのため命を落とした人も他県でいます。	1
どこの河川が何時の時点で、どの程度危険なのかを具体的にわかるようにできないだろうか。	1

【4】ハザードマップ 避難計画のあり方で久喜市に望むことなど聞かせてください

内容	件数
車等を高台に移動する所が欲しい。例えばモラージュとかアリオの屋上のマップの作製してほしい。後で知り合いに聞いたら5・6割の人が見ていなかった。PR必要。マップを見てどう判断するか地区別に勉強会してほしい。地区ごとに責任者を決めた方がよい。相談できるので。1年に1回、地域ごとに避難を実施したらよい。全家庭が来た時に収容人数はどのくらいなどやってみないとわからない。マップの見方分からない説明会等開催してほしい。避難訓練を毎年やっているが地震を想定している。台風など水の災害が起こった場合の避難計画を考えてほしい。ハザードマップきていない。避難できない。	12
避難がいつばいで入れず次の避難所に向かう時、渋滞だったと聞いた。これではかえって危険ではないか。	1

【5】台風19号の経験から、一人でも多くの市民の命を守るために 必要なこと

内容	件数
台風の大きさは前もってわかるのだからあとから避難がムダだったとしても、なるべく早い段階で避難した方がよいと思う。その避難場所は全員が安全に収容できるように配置すべき。行って入れないのは最悪。早めに周知する。一定時間で状況報告。防災放送が聞こえ伝わるか確認する。(異常時に) 警察、消防、市役所の広報車などで確実に伝わるよう徹底を図る。	2

<p>【その他】 菖蒲町に2～3人共産党の議員がいた時は違った。渡辺さんも足を使って歩いて下さい。住民、市民は正直ですよ。</p> <p>防災無線聞こえるようにしてほしい。でないと命守れない。</p> <p>旧菖蒲町は戦後のキャサリン台風の時旧久喜境の備前堀川まで利根川の水が来た時以来水害は少ない地域。特に利根川の状況について、深夜であってもいち早く情報を伝えて。年配で平屋に住んでいる人の対応必要。早めの情報提供を。雨風の中歩いて避難所に行くことは難しい。車で行っても車も水につかる可能性ある。</p> <p>河川の管理強化に真剣に取り組むこと。氾濫寸前の地点がいくつもあったと聞いている。ただちに土壌のかさ上げなどを行うこと。自分の地域の河川や土地の高低について自分の目で見て知って避難場所をどこにするかどこが安全か考えること。各庭の整備がされず、ビニール傘が干してあったりしてガラスに飛んでこないか不安でした。台風前に区長・班長が各家庭を回って指導したらよい。</p> <p>平屋の世帯の指導ほしい。情報は早めに市民に伝えてほしい。近所同士で助け合う。ハザードマップの見方、判断の仕方、考え方を地域ごとに勉強すべきです。小中学校でも授業に取り入れるべきです。ご近所の声掛けが大切だと思った。特に一人で動くのが難しい人の手助けは大事。</p>	<p>1 2</p>
---	------------